



瀬戸の風



医療法人社団清和会 笠岡第一病院
〒714-0043 岡山県笠岡市横島1945
TEL(0865)67-0211 FAX(0865)67-3131

【スペイン広場】



病院探訪シリーズを始めました。
8ページをご覧ください。

*** もくじ ***

医療法人社団清和会の概要	2~3ページ
特集：小児科の診療と活動紹介	4~6ページ
管理栄養士の健康レシピ 山陽新聞Medica掲載	7ページ
新任医師紹介・病院探訪	8ページ
新入職員紹介・永年勤続表彰	9ページ
認知機能セルフチェック検査のご案内 オンライン資格確認システム導入	10ページ
日本がん治療認定医機構認定研修施設 健やかライフ メンバース など	11ページ

基本理念

1. 「豊かな健康」それが私たちの願いです。
2. 全人的視野に立ち、質の高い医療に取り組んでいきます。
3. 安全で適切な医療を提供します。
4. 明日を担う子供達の「子育て支援」から、充実した「高齢者福祉」まで見つめます。
5. 生活習慣の改善・疾病の予防を提案し健康で明るい家庭作りに役立ちます。

医療法人社団清和会の概要：私たち450名のスタッフが力を合わせて

3年間に渡る新型コロナウイルス感染症で日常診療を行いながら、コロナ予防接種、施設内感染予防対策、診療・治療、クラスター対応などかつて経験した事のない日々を使命感を持って職員一同協力して乗り切って参りました。コロナも5月8日より5類に変更となり、心新たに目標に向かって各部署間の連携をとりあって全人的視野に立った安全で質の高い医療に取り組んでいきます。

笠岡第一病院

- ◆医局 25名 医師
- ◆診療情報管理室 2名 事務(医局秘書)
- ◆医療事務部 27名
【医事課・病棟クラーク】【DPC/病歴管理】
- ◆地域医療連携室 10名
看護師 3名・社会福祉士 4名・事務 3名
- ◆看護部 157名
【外来・小児科・手術室・3階・4階・5階病棟】
看護師 120名・医師事務作業補助者 10名・アシスタント(外来、病棟、手術室、内視鏡) 24名・病児保育士 3名
- ◆歯科 4名 歯科医師 1名・歯科衛生士 3名
- ◆人工透析センター 32名
看護師 6名・臨床工学技士 19名・医師事務作業補助者 1名・透析クラーク 1名・透析アシスタント 5名
- ◆医療技術部 105名
【薬剤管理科】薬剤師 7名・助手 1名
【臨床検査センター】臨床検査技師 7名
【生理機能検査センター】臨床検査技師 7名
【画像診断センター】診療放射線技師 11名
【臨床工学科】臨床工学技士 22名
【眼科】視能訓練士 2名
【リハビリテーションセンター】23名
理学療法士 14名・作業療法士 4名・言語聴覚士 2名・臨床心理士 1名・公認心理師 1名・助手 1名
【栄養管理科】
管理栄養士 8名・調理師 13名・調理員 4名
- ◆法人事務局 12名
【総務・経理・人事・システム管理・設備・用度・修繕など】
- ◆クリーンキープ課 10名【施設内整備】
- ◆売店 3名
- ◆地中海料理 海萌 3名
調理師 2名・ホールスタッフ 1名

瀬戸ライフサポートセンター
52名

病床数：148床

- 一般病床 :94床
- 地域包括ケア病床 :54床

診療科目：29科

- 内科 ●呼吸器内科 ●循環器内科
- 消化器内科 ●肝臓内科 ●腎臓内科
- 神経内科 ●糖尿病・内分泌内科
- 血液内科 ●人工透析内科 ●脳卒中内科
- リウマチ科 ●皮膚科 ●小児科
- 外科 ●消化器外科 ●呼吸器外科
- 血管外科 ●乳腺・内分泌外科
- 泌尿器科 ●脳神経外科 ●整形外科
- 形成外科 ●眼科
- リハビリテーション科 ●放射線科
- 麻酔科 ●救急科 ●歯科

地域の皆様の「豊かな健康」に貢献いたします。

清和会職員数:450名(内女性338名)

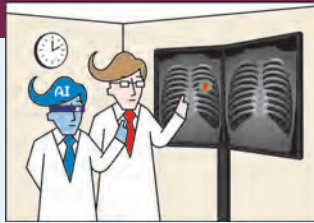
笠岡第一病院
371名



胸部X線画像AI診断

2022年1月より人工知能(AI)の活用による画像診断を行っています。

医師とAIの併用で精度の高い画像解析を提供しています。



どの診療科を受診するかお困りの方へ



1階と2階待合に、気になる症状についてのチェックシートをご用意しています。

お悩みの方はぜひ活用頂き、当てはまる項目があれば、1階の外来中央カウンターにお気軽にご相談下さい。



詳細については、当院ホームページ内
年度報をご覧ください

瀬戸ライフサポートセンター

◆瀬戸いこい苑 42名

【入所介護・通所リハビリテーション】

看護師 13名・介護福祉士 23名・
社会福祉士 1名・ケアマネジャー 1名・
理学療法士 2名・作業療法士 1名・
事務 1名

◆在宅療養支援センター 10名

【居宅介護支援事業所】ケアマネジャー 6名

【訪問看護ステーション】看護師 4名



健康管理センター 6名

【健康診断・人間ドックなど】

保健師 2名・臨床検査技師 1名・
診療アシスタント 1名・事務 2名

井原市高屋町3丁目24-10



【透析専門施設】

タカヤクリニック 16名

医師 1名・看護師 4名・
臨床工学技士 7名・透析アシスタント 4名

笠岡市二番町2-9



【関連施設】

ウェルライフONE株式会社

◆健康増進クラブONE 5名

健康運動指導士 4名・助手 1名

「地域の子ども達の笑顔を守っていくために」

小児科 湯本 悠子

新緑のまぶしい季節となりました。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更され、小児科外来の待合から見える海や神島もキラキラ、ちょっといつもよりきれいに見える気がします。

コロナの発生から3年以上が経過しました。当科でも感染対策をとるために体中ビニールで覆われてゴーグルの奥の眼しか見えない状況で院外・院内を問わず、診察や検査を行い、次第に入室時から「鼻しない〜!」とコロナの検査を恐れて入ってくる年少児や、咳や熱を過度に心配して心身に不調を訴えたり、登校しにくくなる児童の増加に心を痛めてきました。小児科スタッフ一同、本来心がけたい患児に寄り添った医療から、コロナの流行に伴い、なんとか地域の小児医療を守るのに必死な慌ただしい毎日にならざるを得なかった気がします。

でも多感な時期をコロナと共に過ごした子ども達はもっと大変だったことでしょう。「コロナだからしょうがない」と規制の多い生活や社会不安が長期にわたり、戸外で子ども達が体を動かしてワクワク・ハラハラ・ドキドキ夢中で遊ぶ体験や、困った事つらい事も含めて言葉で表現し話し合い解決する経験等、成長発達に欠かせない時間が削られてきたように思います。これらの経験はいずれも周囲の大人の温かい眼差しとゆとりある対応の環境の中で育まれます。コロナの脅威が去ったわけではありませんが、きちんと子ども達に私達がしっかり守ることを伝え、安心できる「居場所」から子ども達の目指す目標にはばたいていけるよう応援していきたいと思っています。



子ども達への思い

保護者の皆様と共に、子どもの心身ともに健やかな成長をめざし、地域密着型の病院としてできる包括的な医療の提供に日々努めています。今までの活動を再編成して、この度『すこやかこどもプロジェクト』が発足しました。子ども達の各々の成長発達段階における疾病や困難感・不安に寄り添い、保護者の皆様をも含めて適切なサポートを多職種の専門スタッフが連携して編み上げてゆきたいと考えています。そして、様々な経験を得て子ども達が「豊かな自己肯定感と共に、自分の体に興味を持ち、自分の健康を自分で守る大人」に成長されるように尽力していきたいと願っています。

外来部門

予防接種や乳幼児健診など、子どもの疾病予防、健康管理・増進を図るとともに、季節や月齢に準じて流行する感染症や小児特有の救急疾患に対応しています。子ども達が楽しみながら安心して受診いただけるように待合をホスピタルアート（ページ背面）で彩り、季節ごとの絵本を取り揃えています。

一般診療に加えて、小児の幅広い診断治療に対応すべく、小児科医師・小児科看護師・保育士、医療スタッフ・心理士・管理栄養士などが連携して、専門の医療を提供しています。アレルギー疾患（食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎／結膜炎など）、身体の成長の問題（肥満、痩せ、低身長など）、発達の相談（言語の遅れ、落ち着きのなさなどの社会性・知的発達の問題）、登校渋り・心身症・思春期の問題（起立性調節障害など）を保護者だけでなく、子ども達にも分かりやすい診療を心がけています。加えて、小児神経疾患（てんかんなど）、小児循環器疾患などを他院からの非常勤医による専門外来があります。また必要に応じて、倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院・岡山大学病院などと連携し適切な医療を提供します。

入院部門

感染症（肺炎/気管支炎、胃腸炎）、気管支喘息、熱性痙攣などの急性疾患と食物負荷試験、脳波検査など入院が必要な病状に対応しています。小児科の病床として8床を確保し、完全個室で管理しています。



すこやかこどもプロジェクト発足



3年5ヶ月もの長期間にわたるコロナ感染症の制限の多い生活下で成長期の子ども達は心身ともに様々な影響を受けてきました。特に0歳から15歳までの脳や身体機能が大きく成長する小児期の子ども達への影響は大きく、今後社会問題の一つになりそうです。私達小児に携わるスタッフは「すこやかこどもプロジェクト」を立ち上げて、子ども達の多彩な声なき声を小児科診療の現場でキャッチし、保護者や地域、教育現場の皆様と共にその対応を学び実践して、子ども達一人ひとりに適した心と体の回復と成長を一步一步サポートしていきたいと願っています。皆様のご助言、ご協力よろしく申し上げます。

外来診療では様々な疾患対応や注意点など幅広いサポートを行います

小児科では子どもだけでなく家族の不安にも目を向けた医療・看護が重要と考えています。子どもの成長には家族（保護者）の皆様が大きな役割を担われます。日頃の健康のチェックポイントや心の不安・しんどさの身体表現やその対応など、保護者の皆様へのサポートが出来ればと考えています。また疾患の具体的な対応としてスキンケア指導・吸入指導、肥満患児の食事や運動指導など個別に行っています。また外来待合では季節に合わせ「子どものケガ」「熱中症」「食中毒」などの掲示を行い、疾病予防にお役立ちたいと考えています。



子どもの脳や身体の成長発達や社会性の発達も共に考えていきましょう

昨今スマホなど子どもの脳の成長発達に大きな影響となりメディアとの付き合い方が問題となっています。スマホ以外に子ども達が興味を持ち打ち込めるものを見つけ出すことが大切です。子どもの健やかな成長の手助けにと、待ち時間の親子時間に季節や各年齢に合った絵本を準備しています。言葉が分からずとも絵本を読んであげることで子どもの言葉や認知能力・社会性の発達を促し、想像力・共感力・感受性を身に付けていきます。また人とのコミュニケーションの方法や、いろんな世界を学ぶツールとしてもぜひ手に取ってもらえたらと思います。



絵本読み聞かせ

「こども健康教室」「出前講座」「親子活動」ではお役立ち情報を発信します

「子ども達の心と体の健やかな成長」を願って、子ども達及び、地域の皆様方、保護者の方々、子ども達に関わる先生や職員の方々に、日常よくある疾患対応、生活注意点、食育、事故防止、スキンケア、感染防止、食物アレルギー対応、食事など「こども健康教室」の開催（web配信あり）しています。また出前講座や親子活動等の院外活動により、私達スタッフも子どもや皆様から学ぶ事も多く、明日への活力やヒントをいただいています。



食育：親子活動



こども健康教室

新型コロナウイルス感染症も5類に変更され、ワクワク・ドキドキしながら共に頑張る達成感や、一緒に運動したり歌ったりする楽しさを子ども達と共に体験して心と体の成長に役立ちたいと考えています。

小児科お問い合わせ

- <一般外来> できるだけ円滑に診療を行えるよう予約枠を設けております。
- <乳児健診> ゆとりをもって診察、育児相談、栄養指導など行えるよう予約制とします。
- <予防注射> 待ち時間を短くして、他の疾患の感染を防ぐために予約制とします。

★乳児健診・予防注射の方は前日までに下記へ予約のお電話を下さい。

『☎0865-67-5010』のあとプップッ…と鳴ったら『2240』

スマートフォン用



出前講座に行ってきました！

食育出前講座：エプロンシアター

2023年3月7日 神内小学校・あおぞら認定こども園

- 第1部 エプロンシアター「うんちのはなし」（看護師 渡邊瑞穂・保育士 岡本万波）
 第2部 食べ物の栄養の話、おやつの話（管理栄養士 加瀬有華）
 第3部 【生活リズム】元気に遊び、おいしく食べて、よく眠る（小児科医師 宮島裕子）



子ども達が自分の身体に興味を持ち、自分自身の健康について自分で考える意識を育むことを目的とし活動しています。よく噛んで好き嫌いせずバランス良く食べることをはじめ、身体を動かし楽しく遊ぶ、よく味わい家族や友達と楽しく食事をする、成長と体の回復・知識の定着には十分な睡眠が必要、テレビ・ゲームは2時間と時間を決めて楽しむなど、生活リズム（食べる・遊ぶ・眠る）の大切さを教え自立の意識を促しています。

子ども達からの「3色の元気キッズをいっぱい食べて元気に過ごしたかった」「腸が6-7mあるの初めて見てびっくりした」「よくかんで食べるよ。ウンチの歌がおもしろかった」「ぐっすり9時には寝るよ」などの言葉にスタッフは元気を頂き、同時に活動継続の意義を強く感じました。

小児救急出前講座：保育士事故予防・事故対応研修会

2023年3月10日 井原市保育士連合会

- 第1部 子どもの事故の現状と事故予防について
 第2部 窒息時の対応・心肺蘇生法について

小児科医師 湯本悠子
 看護師 渡邊瑞穂



子どもの事故の現状、子どもの発達により起こりやすい事故とその対策について最近の事例や保育園・こども園での注意点等を交え講義を行いました。

誤飲窒息の対応と一次救命処置について、乳児や小児の蘇生人形を使用し実践練習を行い、また事故予防に限らず痙攣時や頭部打撲の対応など、保育園での対策の疑問点や子どもへの対応の仕方について現場の声を聞きながら直接アドバイスすることができ開催の重要性と意義を肌で感じています。

参加者から「わかりやすい説明と実技で、もう終わりなの？と思うくらい集中して聞けました」「医療者に少人数で直接丁寧に教えてもらって質問もできて理解が深まった」などの感想をいただきました。子ども達の安心・安全に役立てるよう今後も啓蒙活動の継続に尽力したいと思います。

病児保育室

すこやかキッズルーム

病児保育は保護者が仕事、病気など家庭で看護できない病気または病気回復期で集団生活が困難な子ども達を専門の保育士が小児科医師、看護師のサポートのもとに保育する施設です。2017年からは対象が岡山県全域に広がり、生後6ヵ月～小学6年生までの子ども達が病状に応じて安静で楽しい一日が過ごせる保育に努めています。

来院後、問診、医師の診察で病児保育対応が可能な子ども達は安静度・感染対応・服薬・処置などの指示を受け入室します。昼食希望の子ども達は一般小児食に加えて離乳食、治療食（腸炎食、食物アレルギー食など）を栄養部が対応します。保育士が感染・事故防止に注意し病状、年齢、個性に応じた細やかな対応で、子ども達と共に安全で楽しい一日を過ごします。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し感染防止対策を余儀なくされ利用者の方々にもご不便をおかけしますが、今後ともより一層の子育て支援に励んで参りたいと願っています。



1日の生活の流れ

- 8:30 来院
- 9:00 診察・お部屋入室
- 9:45 朝のおやつ
- 11:00 遊び・絵本・宿題など
- 12:00 食事・服薬
- 12:45 お昼寝
- 15:00 屋のおやつ
- 15:30 遊び・絵本・宿題など
- 17:30 診察→帰宅

利用を希望される方へ ※定員4名

前日の9:00～17:30または当日の8:10以降
 ☎ 0865-67-0211までお申し込み下さい。



申し込みはお電話にて
 お願い致します

【材料】2人分

- 牛もも肉(赤身) 100g
- 小松菜 1/3束(100g)
- にんじん 1/2本
- 木綿豆腐 300g
- サラダ油 大さじ1/2
- 料理酒 大さじ1
- 砂糖 大さじ1
- ★ 醤油 大さじ1と1/2
- 顆粒だし 小さじ1/2
- 水 100ml

【作り方】

- ① 小松菜は5~6cmの長さに切る。木綿豆腐はキッチンペーパーに包んで水気を切り、8等分に切る。にんじんは乱切りにして、耐熱容器に入れ電子レンジで2分ほど加熱する。
- ② フライパンにサラダ油を熱して牛肉を炒め、★とにんじんを加えて煮立てる。
- ③ 木綿豆腐を加え、再度煮立ったら弱火にして5分ほど煮る。
- ④ 小松菜を加えさらに2~3分煮る。



ポイント

普段の献立に取り入れていただけるよう、手に入りやすい食材を使用しました。ボリュームはありますが、味はあっさりしているので食べやすいですよ!



栄養量 (1食分)	エネルギー	タンパク質	脂質	食塩相当量	鉄分
	310kcal	23.6g	15.7g	2.3g	4.6mg

1日の推奨量の約半分が摂れる

鉄を効率良く取り入れ貧血を予防するためには、他にも欠かせない栄養素があります。

- ビタミンB2 … レバー・卵・緑黄色野菜・納豆
- ビタミンB6 … レバー・鶏肉・魚・バナナ
- ビタミンB12 … レバー・肉・魚・貝類・牛乳
- 葉酸 … レバー・卵・緑黄色野菜・納豆・果物



鉄の1日の
推奨量
(18~49歳)

男性: 7.5mg
女性: 10.5mg
(月経あり)

山陽新聞 Medica 連載



山陽新聞「岡山医療健康ガイドMEDICA」に“地域で自分らしく生きる医療を”というテーマで、当院の記事が全7回にわたり掲載されました。

①	3月 6日	身近な「がん診療」	外科 小谷 一敏・藤井 研介
②	3月20日	むくみとリンパ浮腫について	形成外科 河村 進
③	4月 3日	アドバンス・ケア・プランニング -人生の最期について考える-	救急科 田邊 綾
④	4月20日	骨粗しょう症を知って、骨折を予防していく!	整形外科 門田 康孝
⑤	5月16日	子ども達の心と体の健やかな成長に寄り添う社会を	小児科 湯本 悠子
⑥	6月 5日	アトピー性皮膚炎治療の3本柱	皮膚科 水野 佳寿子
⑦	6月19日	地域の「食べる力」を引き出すために -病院歯科としての取り組み-	歯科 坂本 隼一

※1階内科待合ロビーに掲示しています。お持ち帰りをご希望の方は中央問診カウンターへお声掛けください。

新任医師紹介

常勤医師



つるい きわみ
【診療科】 泌尿器科 鶴井 極己 **【趣味】 バイク、キャンプ**

2023年4月より泌尿器科の常勤医として着任することとなりました、鶴井極己と申します。

岡山の地に足を踏み入れてから早10年目となりましたが、笠岡まで足を運ぶことがあまりなかったため、今回このような機会をいただき非常に楽しみにしていました。

バイクやキャンプが好きなので海沿いを走ったり、素敵な景色に囲まれてのキャンプを楽しみたいと思います。

また今回、初めて大学病院から出て地域の病院で診療をさせていただくにあたり、不安なことも多いですが、赴任以来、先生方や看護師さんなど多くのスタッフの皆様を支えられ、当院の温かさを実感しております。

泌尿器科医として2年目でまだまだ未熟ではありますが、大学で学んだことを診療に活かし、当院で多くを学ばせていただくとともに、笠岡の地域の医療に少しでも貢献できるよう努めさせていただきます。今後とも何卒よろしく願いいたします。

非常勤医師

診療日割表は巻末12ページをご覧ください

【脳卒中内科】	木本 和希	月曜日 午前	【小児科】	若林 尚子	金曜日
【リウマチ内科】	守田 吉孝	第3水曜日 午前	【小児科】	半澤 愛	金曜日 午前
【リウマチ内科】	小出 侑佳	金曜日 午前	【消化器内科】	大下 智弘	健康管理センター 金曜日 午前
【泌尿器科】	覚前 薫	水曜日 午後 手術	【皮膚科】	村田 愛美	土曜日 午前
【リハビリテーション科】	村田 涼	木曜日 午後			
【腎臓内科】	角谷 裕之	木曜日			
【腎臓内科】	頼 聖凱	タカヤクリニック 第1・3・5水曜日 第2・4金曜日			

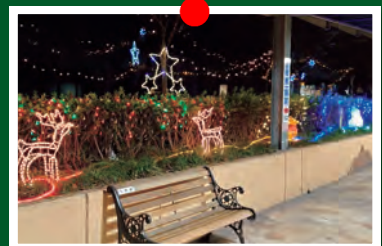
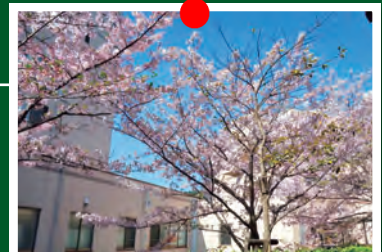
病院探訪

来院される皆様に安全で心安まる環境を提供させていただこうと、私たち職員が智慧を寄せ合い様々な工夫を重ねております。この度シリーズとして、随時掲載することになりました。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

病院探訪シリーズ① スペイン広場

ほっと一息いれて頂く憩い場所にとベンチを置き、壁面にはタイル工房に特注で作成した3枚のスペインタイル絵画を飾っています。

春には桜が見事に咲き、冬にはクリスマスのイルミネーションが見る人の心を温めます。



新入職員紹介

医師	鶴井 極己
看護師	岸田 紗希 寺嶋 明花 橋本 美月 荒木 怜魅華 柚木 春果
臨床工学技士	土井 雄登
臨床検査技師	加藤 朱理
社会福祉士	藪井かやの
管理栄養士	藤本 秀平
調理師	藤原 主空
調理員	村田 麻衣
病棟アシスタント	村上 直子
理学療法士	山本 千晶 砂田 魁人 寺島明佳音
作業療法士	小林 史弥
公認心理師	竹田 有沙



19名の新入職員が仲間に加わり、4月1日時点で総勢450名となりました。

【新入職員代表挨拶】（一部抜粋） 臨床工学技士 土井 雄登

私どもは晴れて本日から笠岡第一病院の職員として職務につくことに、心から光栄に思うと同時に、大変身が引き締まる思いです。新入職員の多くは先日まで学生であった新社会人です。これまでは座学や実習で知識や技術を身につけてきましたが、これからは実際の医療現場でそれを発揮するようになります。

医療現場では、迅速な判断力や対応力が求められることになり、一人一人が医療従事者としての自覚と責任をもつことが大切になります。

一日も早く、患者様また地域医療に貢献できる職員となれるよう精進してまいります。そのためには先輩方のお力添えが欠かせません。

どうかご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

永年勤続表彰

病院の日・看護の日に永年勤続表彰を毎年行っており、今年は20年表彰4名、10年表彰9名、5年表彰14名の計27名が表彰を受けました。



20年勤続	
奥野 理恵	看護師
野田 圭子	病棟アシスタント
平井 美由紀	介護福祉士
渡邊 昌江	医局秘書
10年勤続	
松田 桂	理学療法士
串田 直子	看護師
三好 大輔	臨床工学技士
三宅 美幸	透析アシスタント
河本 光代	看護師
安倉 枝里	医療事務
木嶋 貴史	診療放射線技師
本岡 紀子	地域医療連携室事務
矢吹 裕子	診療アシスタント

【表彰受賞者代表挨拶】（一部抜粋） 看護師 奥野 理恵

私が入職したのは1994年。24年前です。結婚、出産を経て4人の子どもの子育てと仕事を20年間という長い期間両立することができたのも、病院の福利厚生充実と、職場の方々を支えて頂いたおかげと、家族の協力があったこそだと大変感謝しております。

職場はこの20年間で3階病棟、手術室、5階病棟を経て、現在は再び3階病棟で勤務しております。思い返せば電子カルテの導入、病院内禁煙、病院の増築、分院から本院への転院と時の流れと共に移り変わりました。そしてこの3年間、新型コロナウイルス感染症により想像しなかった社会となり、厳しい現実を体験しております。これらの経験を通して私が大切にしているのは、患者サービスの根源である患者ファーストの精神です。どんな状況にあれ、患者側の精神を忘れず看護を提供できる看護師でありたいと思っています。

まだまだ未完成な所も多いですが、これからも組織の一員として日々努力を惜しまず仕事に励み、スキルを磨き、病院の発展に貢献できるよう尽くして参りたいと思っています。

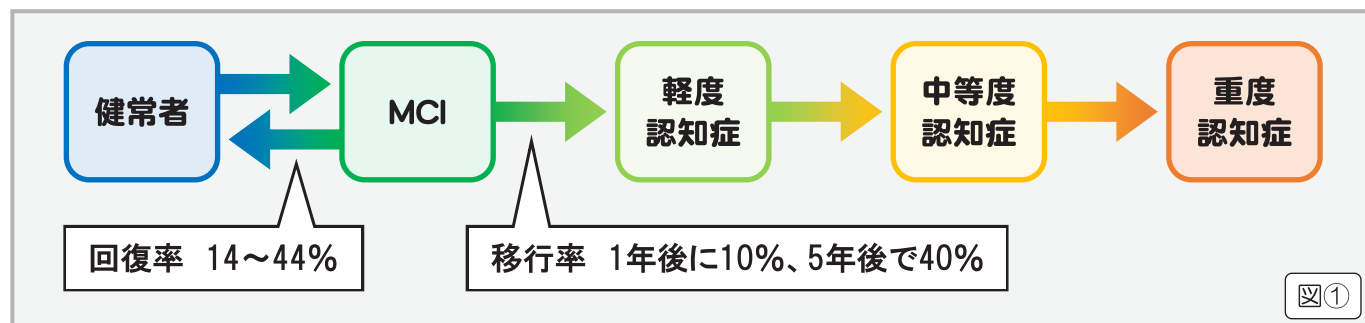
厚生労働省が発表したデータによると65歳以上で認知症を発症している人は2012年時点で約462万人、加えて認知症の全段階といわれているMCI（軽度認知障害）を含めると、65歳以上の4人に1人が認知症あるいはその予備群であることが明らかになりました。MCIになると必ずしも認知症になるわけではなく、正常な状態に戻る可能性もあります。【図①】

5月より当センターでは認知機能セルフチェック検査を導入しました。この検査は、認知症の前段階であるMCIのリスク評価を行うスクリーニング検査です。VR(Virtual Reality)内で出題される問題を「じっと見つめるだけ」で回答が行え、検査時間も5分と短く簡単に測定出来ます。ご自身の認知機能の状態把握の目安のひとつとして活用なさってみてはいかがでしょうか。

視力低下や眼の病気の症状によっては検査を行えないことがあります。詳細については健康管理センターまでお問い合わせ下さい。

健康管理センターお問合せ

TEL:0865-67-5111



こんな人におすすめします

- 物忘れがある / 言葉がぱっと出てこない
- 認知機能の検査を今まで一度も受けたことがない
- 高血糖、糖尿病、脂質異常症などの持病がある

★ 5~10分程度の簡単な検査です
検査費用 3,000円(税込)

※健診のオプション検査となります。単独では受けていただけません。

よくある質問

■目が悪くても検査は可能ですか？

眼鏡など矯正視力があれば基本的に問題ありません。VR内の画面の文字や絵を見ることができれば検査可能です。

■検査はどのくらいの頻度で受ければ良いですか？

半年または1年に1回のペースをおすすめしています。

■検査結果が悪かったときにはどうすればいいですか？

検査結果に関して気になる方は、専門医療機関を受診されることをおすすめしています。



オンライン資格確認システム導入

医事課 今本 奈美江

2023年4月1日より、オンライン資格確認システムを導入しました。オンライン資格確認システムとは、マイナンバーカードを専用のカードリーダーに置いて認証していただくことにより、保険証の確認（公費を除く）ができ、また、患者さんの同意に基づき、特定健診情報・他院の診療/薬剤情報を取得できる仕組みのことです。患者さんの医療情報を有効に活用し、質の高い医療を提供することができます。

当院では、病院各受付・健診センター・タカヤクリニックにカードリーダーがあります。保険証をご提示いただく際に、混雑時には並んでお待ちいただくこともありましたが、受付カウンターにあるカードリーダーでマイナンバーカードを認証いただくことにより、保険証原本のご提示が不要となります（公費を除く）。さらに、窓口での支払いが高額になる場合、自己負担額を所得に応じた限度額にするための「限度額認定証」の手続きが不要となり病院で確認が行えるため、限度額以上の一時支払いが不要となります。

マイナンバーカードの認証がない場合、診療報酬の決まりにより、初診時には2~18円、再診時には2~6円（負担割合により異なります）が月に1回加算されます。

カードリーダーはマスクをつけたままでも本人確認を行うことができ、操作も簡単です。事務職員による説明もおこなっておりますので、お気軽にお声かけください。質の高い医療提供ため、受診時には毎回、マイナンバーカードの利用にご協力をお願いします。



「日本がん治療認定医機構認定研修施設」2023年4月1日認定

国民の2人に1人が「がん」に罹り、3人に1人が「がん」で亡くなっている日本において、「がん」対策は大切な地域医療の一つです。近年、がんの遺伝子学的特徴が明らかになりつつあり、検査や治療に関する情報や技術の質・量は驚くほど専門的で膨大なものとなっています。

本年度、「日本がん治療認定医機構認定研修施設」に認定されました。標準治療に関する知識・技術を日々学びながらチーム医療で共有し、検査・診断・治療が円滑に行われている施設で、岡山県には当院を含め17施設あります。

当院では「がんチームプロジェクト」を立ち上げ、患者・家族を支援するために医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、歯科衛生士、医事課から成る3つのチーム（化学療法、緩和ケア、患者家族支援）を中心に活動しており、地域のがん治療水準の向上を目指して、今後も病院全体で取り組んで参ります。（外科 藤井 研介）



新型コロナウイルスが5類になってからのご案内

厚生労働省の通知により、3月13日からマスクの着用は個人の判断に委ねられることになりました。また新型コロナウイルス感染症が感染症分類上の5類に引き下げられたことにより、日常生活においては規制の緩和が見られていますが、医療機関受診時や高齢者施設訪問時には、マスクの着用が推奨されています。

当院においても、体調の優れない多くの方がご来院されることを考慮したうえで、引き続きマスクの着用や手指消毒、窓口でのアクリル板設置を続け、感染防止につなげていきたいと考えております。ご来院の際には、マスク着用のご協力をよろしくお願い致します。



健康やライフメンバーズ

おうちで健康教室

YouTubeで
配信中

▶6月の配信

慢性腎臓病(CKD:Chronic kidney Disease)をご存知ですか？

タカヤ クリニック所長 腎臓内科 和田 佳久

慢性腎臓病(CKD)が進行した状態、末期腎不全になってしまったら

看護師 松井 宏子



他にも多数の動画を配信中です。皆様の健康づくりにお役立てください。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症対策で中止していた **健康教室** を **7月より再開** します。

7/26 健康づくりのための運動新常識

日時：**7月26日(水) 13:30~14:30**

場所：**笠岡第一病院 5階 多目的ホール**

講師：**健康増進クラブONE 健康運動指導士 石部 豪**

エクササイズの実践もします。動きやすい服装でご参加ください。

感染症対策として、マスク着用にてご来場ください。

※新型コロナ感染症の発生状況により中止となる場合もあります。その際はおうちで健康教室(YouTube配信)に変更させていただきます。ご了承ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症対応が2類から5類に引き下げられ、病院の行事も少しずつコロナ以前に戻りつつあります。

長い間YouTubeにて配信させて頂いておりましたが「健康教室」も、7月より以前のように笠岡第一病院5階多目的ホールで開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

(三宅)

日本医療機能評価機構認定病院 臨床研修病院指定施設

日本整形外科学会専門医研修施設
日本手外科学会専門医研修施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本リウマチ学会教育施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本臨床薬理学会専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設

当院の状況 (2023年5月)

平均在院日数

一般病棟

9.7日

地域包括ケア病棟

20.1日

病床利用率

71.9%

1日あたり 外来患者数

552名